

環境情報協議会議事概要

件名	平成29年度渡島総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会
月日	平成29年9月19日(火) 15:00~17:00
場所	渡島総合振興局 1階 101会議室
出席者	別紙「平成29年度第1回渡島総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会出席者名簿」のとおり
資料	協議会次第、出席者名簿、協議会座席表、協議会開催要領、田園環境整備マスタープラン、対象地区一覧、平成30年度新規採択希望地区資料、平成29年度事業実施地区、農業農村整備事業概要
会議内容	<p>○協議会開催趣旨の説明</p> <p>○市町村田園環境整備マスタープランの概要説明</p> <p>○総合振興局地区担当者による事業概要説明</p> <p>○意見交換</p> <p><草地畜産基盤整備事業(草地整備型(公共牧場整備事業)) 長万部中部地区></p> <p>会 (委員)</p> <p>・牧柵について、3段張から4段張にするとあるが、全てを新しくするという事なのか。また、1段増やして放牧牛の逸脱防止機能を強化するとあるが、現時点で脱走などの例はあるのか。</p> <p>議 (総合振興局)</p> <p>・既に老朽化が進んでいるため、全てにおいて新設する形となる。また、過去に役場から逸脱の例はあると聞いている。</p> <p>(委員)</p> <p>内 ・3段張と4段張の高さは何cmになるのか。</p> <p>(北斗市)</p> <p>・どちらも約120cmとなる。段差の違いについては下部が開いているかいないかの違い。牛は上より穴を掘って脱牧することの方が多。また、熊の侵入を防ぐ役割も持っている。</p> <p>容 (委員)</p> <p>・蕨岱牧場の付近には国道5号線があり、牛が脱牧すると危ない。早急に整備していただきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>・現在、水飲み槽は何箇所あるのか。</p> <p>(総合振興局)</p> <p>・整備する箇所については6箇所ある。それを牧区の再編に伴い4箇所に再編する形</p>

となる。

(委員)

・広大な敷地の中で減少するというのはデメリットにならないのか。

(総合振興局)

・牛の大きさ、郡、頭数、管理面等考慮しての設置となるため問題はない。

(委員)

・新しい機能が加わることはないのか。

(総合振興局)

・ありません。

(委員)

・牧草の生産性の向上や営農コストの低減などの表現があるが、実際の数値としてはどれくらい変わるものなのか。現状と計画を対比したものがあればありがたい。

(総合振興局)

・牧草収量調査結果としては、約2, 200~2, 300である。牧草生産の計画単収は酪肉近計画を目標としているため、約2~3割の向上が図られるよう計画を立てている。

<農地整備事業(通作条件整備(農道保全対策型)) 城岱地区>

(委員)

・被覆工で撒く種子は、実際どのような種子を撒くこととなるのか。

(総合振興局)

・現在の植生を使うことが望ましいが、全てを採取して種を取るには時間と労力が大幅にかかる。そのためできる限りの配慮はするが、法面保護工とし売っている種子を使うこととなる。

(委員)

・緊急に対応しなければならない状況のものには応急的な対応を取りつつ整備していくのか。優先順位を付けて工事を進めていくこととなるのか。

(総合振興局)

・危険度等を考慮した上で市町と優先順位を付けていくこととなる。この他、予算の都合もあるため、これらを考慮していく形となる。

<農地整備事業(通作条件整備(農道保全対策型)) 大野平野地区>

(委員)

・一度補修してから当該地区のような状態になるまでは平均的に何年かかるのか。

(総合振興局)

・約20年となる。

(委員)

・農道で整備したにも関わらず、一般交通や新幹線の工事により大型車両の通る機会が多いためすぐに痛む。そのため長く使えるような方法を検討していただきたい。

(総合振興局)

・建設サイドと農業サイド等のどれで整備するかは、町の負担も考慮した上で、建設、農業、その他の事業でどれがいいのかを考えながら進めている。

※議事録については本様式(概要)のみとする。